

社会資本総合整備計画(第4回変更)

あ だ ち え き し ゅ う へ ん ひ が し ち く
安達駅周辺東地区

ふ く し ま け ん に ほ ん ま つ し
福島県 二本松市

平成27年12月

社会資本総合整備計画

計画の名称	安全、安心、快適に暮らせる賑わいと活力のあるまちづくり			
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)	交付対象	福島県二本松市	
計画の目標				

本地区は、JR安達駅を中心に、交通アクセスや駅の利用方法を改善し、駅周辺の土地の有効活用を図るために、安全、安心、快適に暮らせる道路と駅前広場の整備をし、賑わいと活力のあるまちづくりの推進を目指すものです。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 交通アクセスに不満がある割合を61% (H23) から41% (H28) に減少させる 駅利用で不満がある割合を57% (H23) から37% (H28) に減少させる 各路線の渋滞延長を100m (H23) から70m (H28) に減少させる 			
-----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H28末)	
	交通アクセスの満足度をアンケート調査する。(指標は不満足とした人の割合)							61%		41%	
	駅利用の満足度をアンケート調査する。(指標は不満足とした人の割合)							57%		37%	
各路線の渋滞延長を調査する。							100m		70m		
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,965.0百万円	A	2,965.0百万円 (うち提案分551.0百万円)	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案事業分) + C) / (A+B+C)		18.6%

交付対象事業

A1 都市再生整備計画事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1			二本松市	直接	二本松市	安達駅周辺東地区都市再生整備計画事業	道路、地域生活基盤施設 15.0ha	二本松市						2,965.0	
小計 (都市再生整備計画事業)													2,965.0		

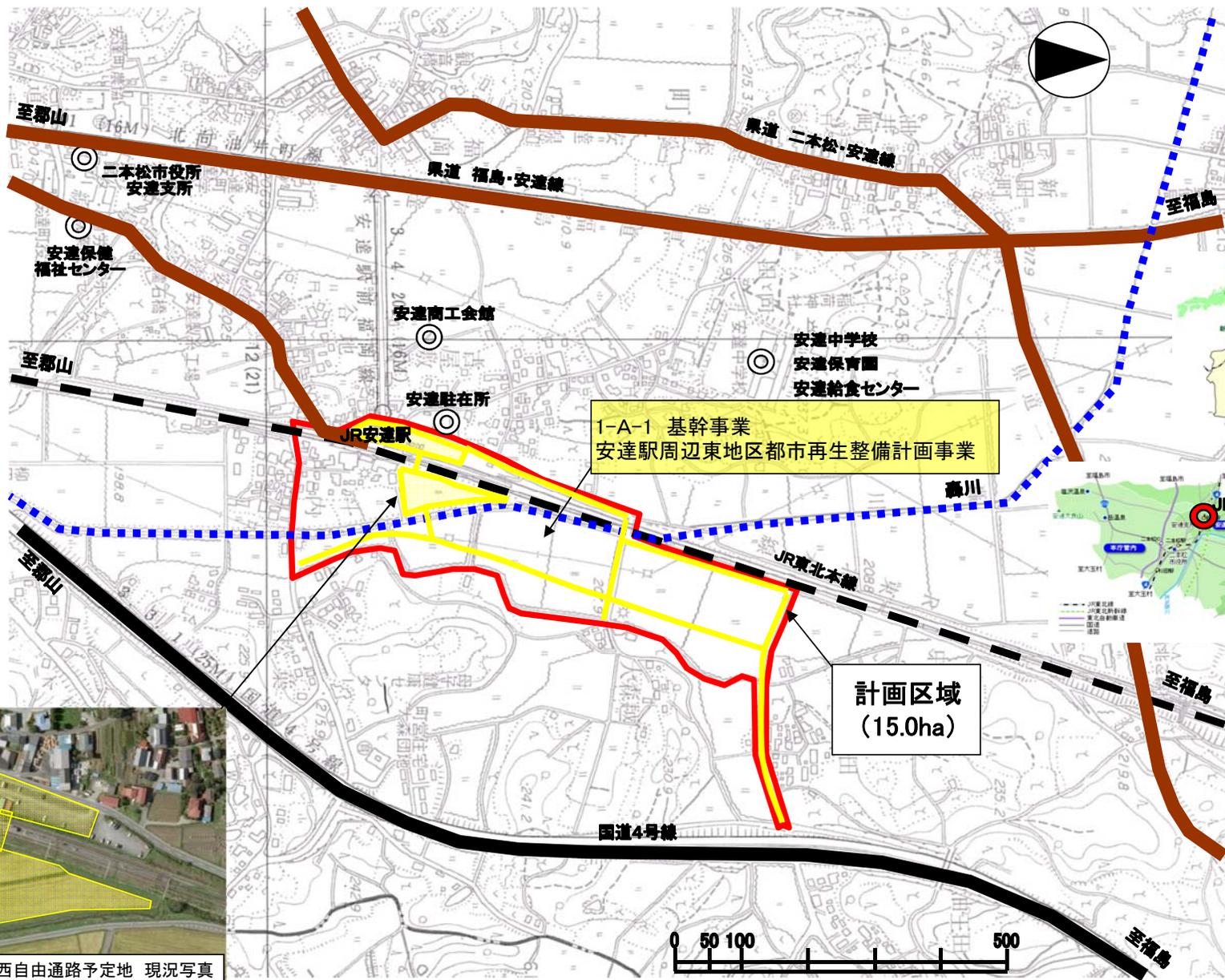
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

計画の名称	安全、安心、快適に暮らせる賑わいと活力のあるまちづくり		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	福島県 二本松市 (ふくしまけん にほんまつし)



1-A-1 基幹事業
安達駅周辺東地区都市再生整備計画事業

計画区域
(15.0ha)



東西駅前広場及び東西自由通路予定地 現況写真



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 安達駅周辺東地区 事業主体名: 福島県二本松市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2)上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>